

- 何のために、街を撮るか、街を記録することの意味を考える。
 - 撮影と合評を繰り返す中で、組み写真を作る学習する。
 - 撮影した写真が「自分の思いに沿って撮れているか」疑問・質問、を繰り返して「何が写っているのか読み取る」合評を重視する。
 - 撮影実践の中で、カメラの機能を十分に活かした撮影方法などを学習する。
 - 写真のタイトルに沿って、縦の写真2枚、横の写真をどう使うか基礎を考えていく。
- ※撮り方は自由自在、心に感じた街を撮り続けて、フォトブックに仕上げていく。

日程	授業項目	授業内容	準備物
6月 2日	オリエンテーション	●カリキュラムの説明	自己紹介
16日	撮影実習	●四ツ谷三丁目 荒木町界限 歴史を知り、街を撮ることの面白さを見つける。 意外と不思議な坂が多い。家々の佇まい、路地裏の店先など。	カメラ
7月 7日	合評	※プリント作品から組写真の作り方	2L プrintの写真
21日	撮影実習	●新橋～有楽町 サラリーマンの街、ガード下の光景。 夏の暑さを撮る。リニューアルするガード下の光景。	カメラ
8月 4日	合評	※プリント作品からどう選んでいくか。	2L プrintの写真
18日	撮影実習	●浜松町界限 駅周辺と増上寺、貿易センタービルの夜景。 歴史のまじりあう街に何を感じたか。	カメラ
9月 1日	合評	※撮影した写真で6枚の組み写真を作る。	2L プrintの写真
15日	撮影実習	●根津界限 開発が進む路地の佇まい、開発優先か路地の景観を残すか	カメラ
10月 6日	合評	※6枚から8枚の組み写真を作る。	2L のPrint写真
20日	撮影実修	●十条商店街 スナップ写真を撮る。沢山の被写体とどう向き合うか。	カメラ
11月 3日	合評	※今まで選んだ写真から6枚～16枚の組み写真を作る。全作品 タイトルの設定、それに沿った作品を選ぶ。	
11月17日 26日	まとめ	★5回の撮影作品を参考に、写真を6～16枚の Book を作る。 写真の見直しをして Book を完成させる。	全作品

※撮影地は授業の進行状況により変わることもあります。

※ギャラリー見学や JRP 主催の夏季セミナーへ参加することで写真の面白さや、参加者との交流で写真を見る目・幅を広げます。

※他のクラスの講師に、必要に応じて写真を見ていただく機会を作ります。